



# 米国株 MARKET PICK UP



## 先週の米国株式市場—感謝祭の祝日を挟むなどして小動きに—

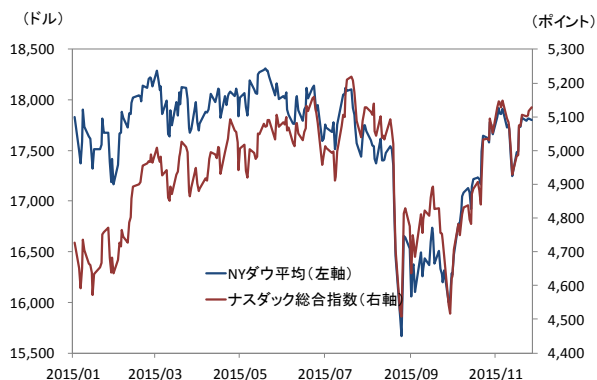
	前週終値	11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	17,823.81	17,792.68	17,812.19	17,813.39	休場	17,798.49	-25.32	-0.14%
騰落幅		-31.13	+19.51	+1.20		-14.90		
S&P500	2,089.17	2,086.59	2,089.14	2,088.87		2,090.11		
騰落幅		-2.58	+2.55	-0.27	休場	+1.24	+0.94	+0.04%
ナスダック総合指数	5,104.92	5,102.48	5,102.81	5,116.14		5,127.52	+22.61	+0.44%
騰落幅		-2.44	+0.33	+13.34		+11.38		

### <先週の概況>

先週の米国株式市場は26日が感謝祭の祝日で休場、27日も短縮取引となるなど取引参加者が少ない中小動きに終りました。ダウ平均は週間で25ドル安となった一方、S&P500やナスダック総合指数は小幅に上昇しています。

トルコ機によるロシア機撃墜など、地政学リスクの上昇によりリスクオフムードとなることが懸念されましたが、結果的にはマーケットに大きな混乱が起きることはありませんでした。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



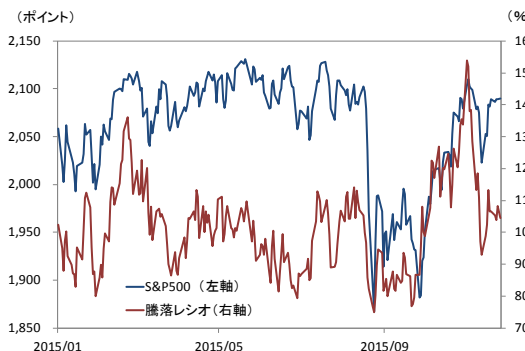
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## 米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	16.2	3.1	2.5%
S&P500	17.7	2.8	2.1%
ナスダック総合指数	23.2	3.9	1.2%

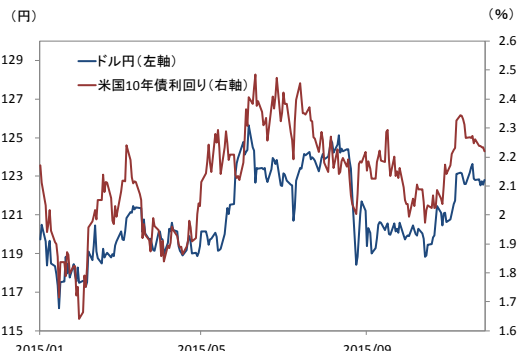
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2015年11月27日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

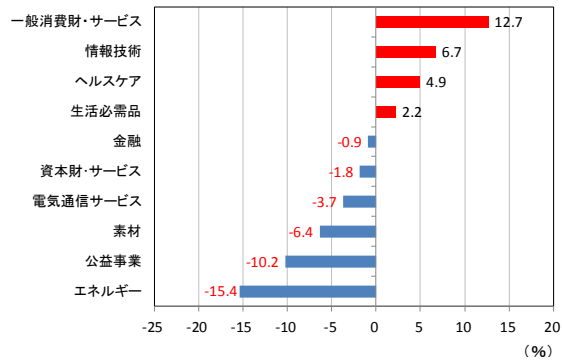
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

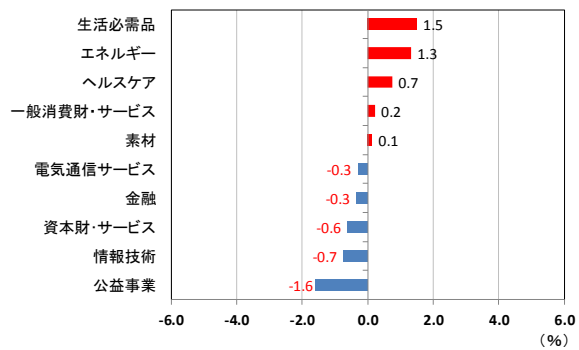
## 業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング(11/23-11/27)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
HD	ホーム・デポ	3.5
PFE	ファイザー	1.9
XOM	エクソンモービル	1.8
KO	ザ コカ・コーラカンパニー	1.7
CVX	シェvron	1.5
NKE	ナイキ	1.3
UNH	ユナイテッドヘルスグループ	1.2
DD	イー・アイ・デュポン・ドゥ・ヌメール	0.6
MCD	マクドナルド	0.3
CAT	キャタピラー	0.1

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング(11/23-11/27)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
DIS	ウォルト・ディズニー	-4.1
BA	ボーイング	-1.6
UTX	ユナイテッド・テクノロジーズ	-1.4
AAPL	アップル	-1.2
GE	ゼネラル・エレクトリック	-1.0
GSCO	シスコシステムズ	-0.9
TRV	トラベラーズ・カンパニーズ	-0.8
AXP	アメリカン・エクスプレス	-0.8
MMM	3M	-0.6
INTC	インテル	-0.6

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

### <上昇>

ダウ平均採用の30銘柄中10銘柄が上昇、20銘柄が下落しました。アラガンとの合併を発表したファイザー(PFE)は2%近く上昇、原油価格の反発を受けエクソン・モービル(XOM)やシェvron(CVX)も上昇しています。

### <下落>

ウォルト・ディズニー(DIS)は参加のスポーツ専門ケーブルテレビの契約者数が昨年度に減少していたことが明らかとなり週間で4%以上下落しました。

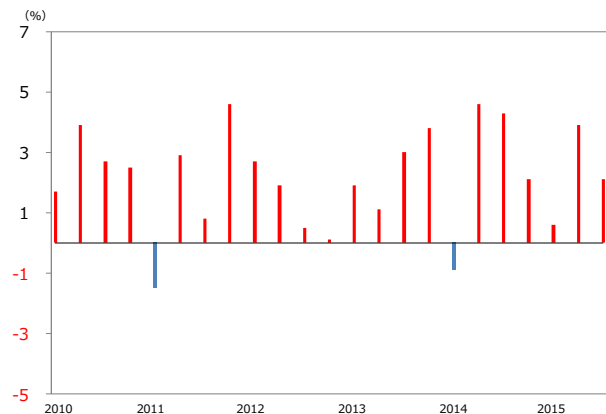
### 先週発表された主な経済指標

7-9月期 GDP 改定値 +2.1% 市場予想 +2.1% 速報値 +1.5%

24日に発表された7-9月期のGDP改定値は前期比年率換算2.1%増と、市場予想と一致しました。

速報値の1.5%増から上方修正されるなど、堅調な数値となったことで、12月の利上げ実施可能性はますます高まったと言えます。

米国のGDP成長率（前期比年率換算）の推移



(出所) Bloombergデータよりマネックス証券作成

### 今後発表される主な経済指標

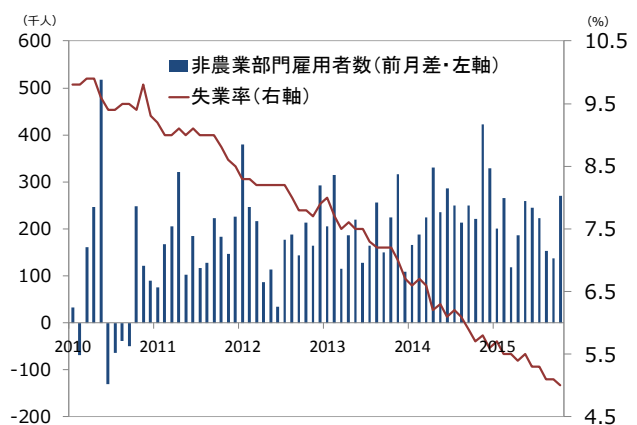
#### 11月雇用統計

非農業部門雇用者数（前月差） 市場予想 +20.0万人 前月 +27.1万人  
 平均時給（前年比） 市場予想 +2.3% 前月 +2.5%

12月4日に11月の雇用統計が発表されます。今回の雇用統計は12月の連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが行われるかどうかの最大の判断材料になるとみられます。

10月分が堅調ただけに、同様の堅調さを維持すれば、12月利上げが行われる可能性が極めて高いでしょう。市場予想では非農業部門雇用者数が前月差20万人増、平均時給が前年比2.3%の上昇と予想されています。

非農業部門雇用者数と失業率



(出所) トムソン・ロイターデータよりマネックス証券作成

## マーケットビュー—イベント目白押しで大幅な値動きに注意—

先週のマーケットビューでは、経済指標の発表が少なく休場日があることなどから値動きがあまりないのではないかと記しましたが、ほぼ予想通りの結果となりました。

今週は先週と打って変わって、重要イベントが目白押しです。12月1日にISM 製造業景況指数、4日に雇用統計と利上げ判断に影響を与える重要経済指標の発表とともに、3日に追加金融緩和の発表が濃厚とされる欧州中央銀行（ECB）の政策理事会、4日に石油輸出国機構（OPEC）の総会が開催されます。

それぞれどのような結果となるかによって、マーケットの方向は変わるとみられ予想することは非常に難しいといえますが、いずれにせよ大きな値動きが出る可能性があります。注意が必要と言えます。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、[「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」](#)をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会